

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第1回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ（WG）		
開催日	2024年9月30日(月)		
開催時間	開会	18:00	閉会 20:00
開催場所	伊那市役所 多目的ホール		
出席者			
協議会・WGメンバー	平賀研也氏、三澤俊明氏、田畑和輝氏、高橋明星氏、須永次郎氏、笠井成樹氏、北原俊文氏		
事務局・職員	伊藤副市長 建設部：橋爪部長、柴田参事、原都市整備課長、辰ノ口伊那北駅周辺整備係長		
関係者	—		
欠席者	—		
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己紹介</li> <li>伊那北駅周辺整備WGの活動方針（案）の説明（事務局説明）</li> <li>伊那北駅周辺整備WGを進めるための課題抽出</li> <li>WG全体会への報告及び情報共有</li> <li>今後のスケジュール</li> </ol>		

議事項目	概要	次のステップ
1、自己紹介		
2、伊那北駅周辺整備WGの活動方針（案）の説明（事務局説明）		
WGのテーマについて	<p>○市から説明</p> <p>伊那北駅周辺については、新校開校に伴い駅を利用する高校生の増加が予想されることから駅前の整備を計画している。本WGでは下記内容を中心に実現可能なアイデア出しをお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生や若者の交流拠点施設（仮）の整備を考えている。施設に必要とされるコンセプトの検討をお願いしたい。</li> <li>駅前広場、ロータリー、歩道橋等のハード事業の整備を計画している。施設の空間活用、空間デザインについての検討をお願いしたい。</li> </ul> <p>ハード事業の整備については、複数の機関と並行して協議を進める必要があり、技術的かつ制度的な制約がある。主な協議は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公安委員会：交差点協議、一方通行等に係る標識表示に関する協議</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 東海：駅舎に関する協議、踏切や土地交換に関する協議</li> <li>・ 長野県：歩道や歩道橋設置に関する協議</li> <li>・ バス、タクシー事業者：駅前広場使用に関する協定</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場を知らないことには議論が深まらない。</li> <li>・ 知りたいこと、繋がりたいことをメンバー間で共有したい。</li> </ul>	
<p>3、伊那北駅周辺整備 WG を進めるための課題抽出</p>		
<p>伊那北駅周辺整備 WG を進めるための課題をグループ内で発表</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者交流拠点施設は必須機能か</li> <li>・ 高校生は駅前に居場所を求めているのか</li> <li>・ 若者交流拠点施設の昼間の活用方法は考えているか</li> <li>・ 市内では、たしゅう室（多目的な自習室）を設置する取り組みが行われている</li> <li>・ そもそも、ユーザーとなる who 毎に検討を進めるべきでは</li> <li>・ そもそも、若者交流施設とは何か</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テナント施設への市からの補助は出るのか</li> <li>・ テナント施設の採算性に問題は無いのか</li> <li>・ 伊那北駅整備に関する JR 協議の状況を知りたい</li> <li>・ WG への地元の方々の参加も考えたい</li> <li>・ 工事完成時期は令和 10 年にこだわらず議論した方が良いのでは</li> <li>・ 工事期間中、工事完成後の小学生や中高生の通学路は確保されているか</li> <li>・ そもそも、優建に市の施設（若者交流施設）が入ることは妥当か</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地主の本音（地主の方々はこの街がどうなることを望んでいるのか）</li> <li>・ 住民（かつての商店主など）は今後の町に何を望んでいるのか</li> <li>・ 開発主体者の考えや求めていることは何か</li> <li>・ 建物の活用やリノベーションの可能性はあるか</li> <li>・ 県の教育長をお呼びして、話を聞くこともできる</li> <li>・ そもそも、教育によるまちづくりは可能か。進徳館を生かせるか</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生のライフスタイルは把握しているか</li> <li>・ 高校同士の交流ニーズは何か</li> <li>・ 高遠・長谷との繋がりをもちたい</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも、対話の場は誰に向けて、どのようにつくるのか。いずれにせよ、顕在ニーズよりも潜在ニーズを把握するための対話の場と設計が必要</li> <li>・伊那北駅整備の事業主体はどこか</li> <li>・2026年は、伊那、高遠、長谷の合併20周年、かつ教育基本法改正20周年。合併と教育の記念周年に向けて、教育ブランディングも考慮に入れながらまちづくりの盛り上がりをつくれなにか</li> <li>・伊那北駅整備の予算はどの位か</li> <li>・そもそも、WG 毎や WG 全体の意思決定フローは</li> <li>・そもそも、運用まで詳細化するのか。主体の発見次第か</li> <li>・そもそも、この WG は、参考程度の情報を集めることが目的なのか。参考にする低度だと厳しい。それともチーム一丸となって実現しようとするための WG なのか</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の方が求めている事とこちらのコンセプトは一致しているか</li> <li>・WG において意見が拡散している。論点を絞って議論してはどうか</li> <li>・市からの説明をしっかりと聞いて WG で議論すべきではないか。ターゲットを定めるべきではないか</li> <li>・WG メンバーはそれぞれの分野の専門家が集まっている。各メンバーが WG への参加を依頼された意義をもう一度見つめ直してみるべきではないか</li> <li>・地元の要望をお聞きしても実現できないケースもある。要望の確認は慎重に進めるべきではないか</li> </ul>	
4、WG 全体会への報告及び情報共有		
	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那北駅周辺整備 WG を進めるため課題を整理し、次回会議で対応を整理して行く</li> </ul>	
5、今後のスケジュール		
次回開催予定	・10月17日（木）18:30- 山寺区長ヒアリング	